

製品の音質改善に必要な技術

吉田 準史 (よしだ じゅんじ)
工学部 機械工学科 教授

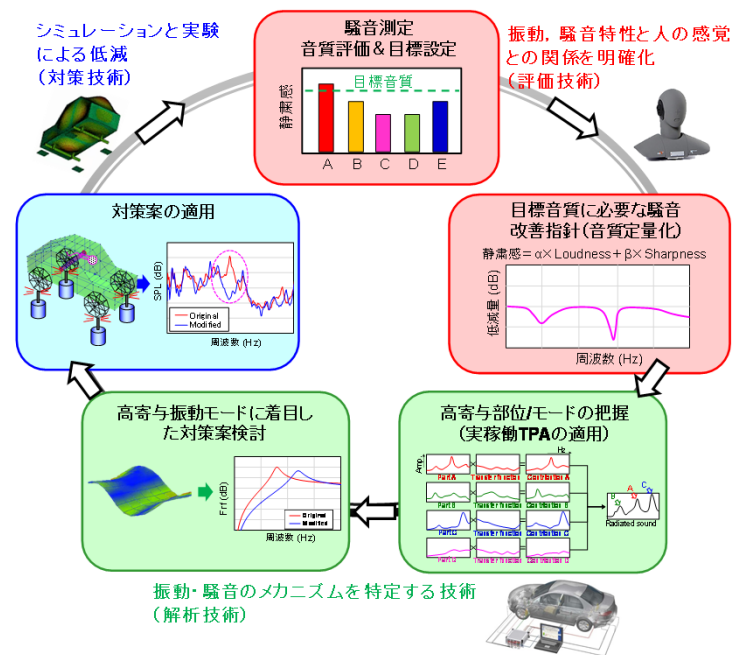


用途・応用分野：自動車や産業機械，
家電製品の騒音改善，振動低減

■ 研究シーズ概要

振動・騒音の改善には、その低減が第一に考えられます。しかし振動や音のエネルギーは小さくても不快に感じられる場合もあります。また振動・騒音改善では製品が本来有する機能を低下させない対策も一方では望まれています。

そこで本研究室では、人にとって不快でない音や振動を探求する技術（評価技術）、振動・騒音の発生要因を探求する技術（解析技術）、シミュレーションや実験を用い効果的に振動・騒音を低減する技術（対策技術）等、製品の振動・騒音をトータルに改善するために必要な技術を開発しています。



■ 研究シーズの特徴

音質改善には評価技術、解析技術、対策技術それぞれが必要となります。本研究室ではこれら全てに関連するテーマを推進していますが、これまで自動車や建機、農機、家電製品など様々な製品を対象に、これらの技術の一部と企業の既存技術を融合させるプロジェクトも実施しています。

